

(別添7)

事業所名 グループホーム ひだまり

2 目標達成計画

作成日: 令和元年 8月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		人手不足はどうしておこるのか？働き手が少ないので当然。しかし、魅力ある所には人が集まる。職場環境を整える。	職員とご利用者様、ご家族がストレスなく仕事をするにはどうしたらいいか、また、ケアの質を上げるにはどうしたらいいかを皆で考えていく。	・グループホーム会議と合わせて事務所会議を続けていき、皆で方向性などを話し合う。 ・申し送りの充実(今現在と今後の話をしていく。)・中学生、高校生とのつながり、実習を増やす。・外国人、障がい者雇用、介護ロボットの取り組み	24ヶ月
2		福祉の仕事の魅力がなかなか伝わらない。仕事に疲弊してしまう現状がある。	やっていることの意味、福祉の仕事の充実、感動、この仕事を選んで良かったと思ってもらう。	・年度替わりにモニタリングをし、評価し、皆で、喜びをわかちあいたい。 ・職員、1人1人、個別に話を聞きながら、考えを共有しあい、「ありがとう。」という言葉共有しあいたい。 ・ホームページの活用	24ヶ月
3		職員が勤務時間の関係で疲弊していることもあり、最近、研修が少ない	効率よく利用者にとっても職員にとっても有意義な研修の機会を増やす。	・グループホーム会議や申し送りなどで勉強したことや「介護の今」を短い時間で的確に話し合う。 ・個別に研修に行ける体制を整える。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。